

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

う み

つ ば め

2020年 7月

88号

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町23番地5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

提言

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、まさに想定外の世界的な災禍です。

このコロナウイルスの正体に関してはまだよく分かっていないため、私たちも試行錯誤しながらこれに対処せざるを得ず、職員の皆さんにも病院の経営にも大きな負荷がかかっています。

しかしながら、どんな状況であっても一番重要なことは、「地域の患者さんに対して断らない医療」という基本を維持し、地域での役割を果たすことです。

石心会グループに於いてこれまで、一部では職員の感染もありながらこの病気と闘う体制が維持できているのは職員の皆さんの高い士気と責任感によるものと深く感謝しております。

今後もこの体制を維持し、油断をせずにウイルスと闘っていかなくてはなりません。

世間では感染の第二波が迫ってきているような主張もありますが世界的な感染状況を統計的

どんな状況であっても基本を堅持し、 地域での役割を貫こう！

石井暎禧

社会医療法人財団石心会理事長



に見るならばまだ第一波がすごい勢いで拡大している最中です。従ってこの戦いは長期戦を免れることはできません。

そしてこの長期戦を制するためには私たちは院内感染を防ぎ、患者さんの命を守り続けるという強い意志が必要です。

職員の皆さんには改めて気を引き締め、院内感染を防ぐために意識を高く持ち、ルール順守を徹底する事

をお願いしたいと思います。

石心会グループが一丸となって、この長期戦を闘い抜き、そして勝利しましょう。

海燕88号 目次

どんな状況であっても基本を堅持し、

地域での役割を貫こう！…………… 1

新型コロナウイルス感染症～現場レポート～ …… 2

石心会グループ職員サイトのご案内…………… 9

わたしが医師になった理由 …………… 10

教えてくださいあなたのモットー…………… 10

今だからおすすめしたいこの1冊…………… 11

石心会カレンダー…………… 12

学会発表一覧…………… 14

新型コロナウイルス感染症 ～現場レポート～

川崎幸病院

奥村伸一 病院安全管理部 部長

伊藤文江 病院安全管理部 科長 感染管理認定看護師



川崎幸病院のコロナ対策の大原則は、

「1 職員に感染者を出さない 2 本来の業務を継続する」です。

3月に現在のコロナ会議を立ち上げました。それ以来4か月に渡り、連日（現在は隔日）この大原則を実現するためにコロナ対策について協議を続けてきました。

振り返ると4、5月は、患者さんの受入を一定制限せざるを得ない状況であったため、収入が大きく落ち込みました。このままでは大原則2の本来の業務が継続できず、地域医療を担う使命が果たせなくなるという強い危機感を持ちました。

そこで、水際でコロナの侵入を防ぎながら、患者さんの受入を強化する戦略についてコロナ会議で日々協議されました。非常にむずかしい舵取りですが、院長の強いリーダーシップと全職員の努力によって、6月はV字回復を果たすことができました。

先日、病院職員の濃厚接触疑いと委託業者職員の感染が同時に判明しました。すぐに緊急コロナ会議が招集され、接触者リストを作成、2日間で約100件の院内PCR検査が実施されました。検査科、ICTなど関係する職員は深夜まで、一部職員は泊まり込みで作業に追われました。その結果、検査対象の職員全員の陰性が報告されたときは、全員が胸をなで下ろしました。

現在、周辺の病院、大学病院など多くの医療機関で、職員や患者さんの感染が広がっており、確実に第二波が迫っています。

しかし、防災一斉メールを活用した職員の体調管理、Teamsを活用した夜間・休日を問わない現場とコロナ会議によるリアルタイムな問題解決、いつでも対応可能な院内PCR検査体制をはじめ、これまで蓄積してきたノウハウを駆使すれば、必ずや第二波にも打ち勝てるものと確信しています。

埼玉石心会病院

石井耕士 副院長／ER総合診療センター長



埼玉石心会病院が行ったCOVID19対応の振り返りで、良かったことを挙げ、第二波に対する準備について述べます。

対応として良かったこと

- 大筋の方針として、「断らない救急」を継続するためにどうするか？を掲げた。
- 救急医が病院入り口から救急外来のゾーニング等を主導した。COVID19疑い患者を受け入れる病棟（軽症、重症）を確保した。これにより、感染防御しつつ救急患者を受け入れることができた。
- COVID19感染を災害とみなし、COVID19感染対策本部を設置した。



スタッフエリアをビニールシートで囲って患者に対応



- 院長を筆頭に、各科の長、各部署の主要なメンバーが現場に入ることによって空気感を理解し、リーダーシップを発揮した。
- 職員のメンタルサポートを産業医、心理士が積極的に対応した。

第二波への準備

- 救急外来のゾーニング、COVID19チェックシートの継続。
- COVID19感染対応病床を一部残す。
- 院内PCR検査体制の確立。

さいわい鶴見病院

原淳 院長

4月初旬の第一波で、残念ながら法人唯一のクラスターが発生し、職員3人、患者さん4人の計7人が罹患しました。当時は医療機関のひっ迫状態があり、それ以上に保健所など行政が大変な状況でPCR検査を施行し結果が得られるまでに6日を要しました。さらに物資不足などもあって病院全体がとても不安定な状況でした。ちょうど病院経営が順調に行き始めた矢先であったため、診療停止とすることはまさに断腸の思いでした。

その間に入院中の患者さん3人を感染症病院へ転院搬送しました。転送先の病院が快く受け入れを受諾してくれたことにとても感謝しています。

同時に4月の期間に濃厚接触者の患者さんとスタッフを隔離・休業としました。経過観察期間で



ある2週間を、毎日、まだ終わらないのかと痛いほど長く感じました。

その間にも発熱者が発生しPCR検査も遅々として進まず、不安な日々を過ごしましたが、各スタッフの踏ん張りでそれ以上の拡大なく収束した経験は、かけがえのない財産となりました。

現在も波が去ったわけではなく、国の方針が変わっただけのことではないと思います。さいわい鶴見病院は、引き続き緊急事態宣言のままの緊張感のある状況の下での運営を続けています。

ということで、引き続き以下のことを口酸っぱく言い続けます。

「われわれの業務は経済をまわすことではなく、患者・スタッフ・家族を守ることである」と…。

川崎幸クリニック

杉山孝博 院長

まず考慮したことは、診療の必要な患者さんを断らないこと、通院患者さんや職員の安全を確保すること、行政や他の医療機関との連携を密にすることでした。

敷地内のプレハブ倉庫、職員休憩室、駐輪場を利用して、動線を別にした「発熱・感染症外来」を設置し、まず総合診療科の医師を、のちに呼吸器科医師も担当することにしました。

はじめの頃、PCR陽性と判明した患者さんの院内動線を確定して、接触した可能性のある通院患者さん約60人に連絡を取ったこと、ゴーグルをつけずに検体採取した担当医が濃厚接触者として数

日間自宅待機したこと、医師の1人が感染し、それによって常勤医師6人が2週間自宅待機したために診療体制に大きな混乱が起こったことなどがありました。

今後の問題としては、暮れから来春にかけてのインフルエンザ流行時期をどのように乗り切るかということがあります。4月に診断したコロナ感染者の中には、インフルエンザやマイコプラズマに同時感染した患者さんもありましたので、「発熱・感染症外来」を大幅に拡充しなければならないと考えています。



第二川崎幸クリニック

関川浩司 院長



当院のような外来施設は不特定多数の方々が集まる場所であり、最近では無症状感染者も出ていることから、誰が感染者かわからない状況下に外来業務を遂行しつつ感染防止策をとらねばなりません。

加えて当院には抗がん剤治療で通院されている方や心臓病など慢性疾患に罹患している方も多く、この方たちを守ることを最優先にしなければなりませんし、安全な医療を提供するためにスタッフを守ることも合わせて考えなければなりません。

2月にスタッフの行動規範を作成し、検温・生活歴記載を義務化、3月には玄関口に検温、問診をするファースト・トリアージエリアを設置しました。

有所見となった方はセカンド・トリアージエリアに誘導し適切な対応を行っています。

また院内でのマスク着用の義務化、必要に応じたフェイスガード、受付のビニールシールド設置、診察室内の定期的な消毒、検査部の防御態勢強化はもちろんのこと、院内放送による注意喚起、「コロナ瓦版」の設置などを行っています。診療面では遠隔診療やオンライン診療を導入しました。

社会は経済論理から制限を緩和する方向で動いていますが、医療はそれとは違う次元で考えるべきだと思います。引き続き感染防止を徹底し、スタッフも医療者としての社会的責任を自覚しながら行動し、必要とされるより良い医療の継続を今後行ってまいります。

さやま総合クリニック

菅野壮太郎 院長



第一波の施設現状

2月から新型コロナ感染症の鑑別を目的とした「トリアージ発熱外来」を開始し、5月からは「ドライブスルーPCR外来」を開設し、動線を分け、安全に配慮した外来診療を実施して、地域医療の一端を担っています。

第二波に向けての準備について

外来診療ではがん患者さんなど、きちんと通院治療すべき患者さんが、感染を恐れるあまり受診を控え、計画通りに診断や治療が進められていないと感じる場面が多くありました。

患者さんの受診行動や地域特性を踏まえた患者ニーズに即した医療の提供スタイルを模索し、同時に医療従事者がさらに安全に診療できる環境を

提供していきます。

その中で、第二波に備えた診療環境整備としては、受診導線をさらに分け、現在の「ドライブスルーPCR外来」を拡大し、インフルエンザの患者さんも含めた恒久的な「発熱・感染者外来」診療ができるよう早急に体制準備をしています。並行して館外でのPCR検査、また胸部CT検査は時間区分して検査する体制準備をしています。

日々変わっていく新型コロナ感染症の対策に対して、全職員協力のもとに、安定した外来診療が継続できる体制づくりを構築していきます。



ドライブスルーPCR外来

川崎クリニック／さいわい鹿島田クリニック

由井淑子 看護部部長



川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックでは合同感染委員会を立ち上げ、毎週、感染対策について話し合い、患者対応、職員対応のマニュアルを作成しました。

〈三密〉になりやすい透析治療を継続するため、施設内に感染エリアを設置し、発熱、症状がある場合は、固定したスタッフにより、時間的、空間的隔離を行いました。

透析患者が入院となると、入院施設も限られてきます。疑い例については、透析患者を収容でき

る病院がほとんどなく、紹介さえできない事態でした。PCR検査は、必要な患者に検査が行えていない状況でした。

この状況を打破するべく、川崎市透析災害対策協議会（kawasaki-DD、会長：宍戸寛治）のネットワークを活用しました。川崎市保健医療調整本部の依頼により kawasaki-DD からリエゾンを5月に設置し、PCR検査、入院受け入れがスムーズに行えるようになりました。今後も第二波に備え施設間で連携し体制を整えていきます。

さやま腎クリニック

池田直史 院長



主に2つ基本方針により対策を講じました。1つは、当然ながらウイルスの院内侵入阻止対策であり、もう1つは院内に侵入していることを想定した蔓延阻止対策です。具体的な対策については、すでに語りつくされていることでありここでは省略します。

さやま腎クリニックは、ベッド間が極端に狭いという、感染対策のためには重大な弱点があります。幸運だったことは、地域ケアクリニックでさやま腎クリニックのコロナ感染症疑い症例を時間的、空間的に完全に隔離して透析をすることができたこ

と（8名、各2週間）、設備清掃委託業者の信徳が飛沫遮蔽板やPCR検査用ボックスなどを非常に短時間で自作してもらえたことでした。これらことによって格段に感染対策がしやすくなりました。

さらに一番ありがたかったのは、職員全員が冷静で高い意識をもって時々刻々と変更されたり追加されたりする対応策に真摯に取り組んでくれたことでした。

まだ第一波も終息していませんので、引き続き高い意識で一丸となって対応していきたいと思います。

昭島腎クリニック

斉藤まさ子 課長



新型コロナウイルスの感染が拡大し、危機感が強まった。発症すれば高いリスクを背負う透析患者212名を感染させない、特に独居で要介護高齢者、認知症患者をどう支えるか、職員が安全に働ける環境の整備など、新型コロナウイルスの感染拡大防止に神経をとがらせた。2月、緊急感染委員会を院長、看護課が中心となって開催、即日、「新型コロナウイルス(COVID-19)に対する患者お

よび職員への対応」を作成、周知、実施した。コロナ感染疑い患者は同一スタッフでPPEの装備、時間的、空間的な分離を実施し急場を乗り切った。最近、東京都は新規患者数が最多となるなど、第二波・第三波の感染拡大が懸念される。迅速なPCR検査の実施、重症者が出た場合の入院体制の確保には近隣の指定医療機関との連携が重要な課題となっている。

新緑脳神経外科

太田誠志 院長



新型コロナウイルス対応の基本は感染予防策の徹底です。

当院感染対策マニュアルに加えて、新たな対策として、職員、患者、付き添い者、取引業者など、すべての利用者に検温を行い、発熱者を院内に入れないことを基本としました。

そのため、エントランスを1か所に限定し、閉鎖した他のエントランスの風除室を発熱外来として利用し、他の利用者と重ならない動線を確保しています。また、待合の椅子を減らし、3連の椅子は中央の座面を外しました。

すべての利用者にはマスクの着用を徹底し、受付にアクリルボードの設置、またはフェイスシールドを使用対応しています。

超音波検査など、距離が保てない検査は延期し、脳ドックなど不急の検査の受付は停止しました。可能な限りの長期処方、電話による遠隔診療などを行っています。現在、受付を停止していた検査を再開していること以外、これらの対策は徹底しています。

当初困難であった行政との連携は改善され、PCR検査所の利用などにより第二波に備えています。

立川新緑クリニック

菅直人 事務長／法人事務局 財務経理部長



3月から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けはじめ、5月が最大の落ち込みとなり、患者数は前年の63%でした。6月になって、わずかに回復したものの、前年の78%に留まりました。

この間、院長指導の下、院内感染、職員の感染を防ぐことを最優先として、他の事業所の例を参考に対策を実行し、老健との互いの職員の出入も禁じました。

職員には生活歴の記録を課しました。

午後の院内の清掃は2名の障害者が担当、日常

業務に加えアルコール消毒を実施しました。

コロナ疑いの患者さんは、隔離室または院外で待機していただき、時間を指定して診察しました。しかし、院内では動線を分けることができず、感染リスクを排除できませんでした。

第2波に向けて、動線やエリアを分け、駐車場に待機場所を設置するなどを検討しています。

私は、立川新緑クリニックには週1日の勤務ですが、勤務のたびに、クリニックでも老健でも新たな対策が施されており、大変心強く感じました。

アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック

渡邊祐介 事務長



感染拡大当初は、厚生労働省の通知や川崎幸病院に準じた対策を講じるとともに、それをホームページに掲載し、職員も通常通りに配置して健診を実施しました。

マスクやアルコール消毒液等は在庫の枯渇状態が続いたので節約を徹底しました。

緊急事態宣言が発令されると厚生労働省から各

種健診・保健指導の延期要請が通知され、追従して日本人間ドック学会や多くの健康保険組合から人間ドックの一時中止要請も通知されました。

クリニックの方針として、通知内容が「要請」であることを厚生労働省に直接確認の上、健診実施継続を決定しました。受診可能であることをホームページに掲載しました。しかしながら延期、中止要

請の影響が大きく、キャンセルが相次ぎました。また、解除の見通しも立たない間は、予約も少ない状況が続きました。

現在、受診予約状況は回復しています。今後も

継続して人間ドック学会等が作成した感染症対策に準じて対応し、待合等の「三密」を可能な限り回避するなど工夫して実施します。

さやま地域ケアクリニック

吉田稔史 事務長



事業を継続することが患者さん、利用者さん、また職員にとっても重要な使命と考え、三密を回避するため、各在宅部門のチーム分け、勤務形態の改変を行っています。

在宅部門は、診療、処置、施術場所が自宅、施設です。したがって労働環境は各住居によって左右され、夏場に向けてそれらが劣悪になっています。その上、感染を持ち込まない、もらって来ないためのPPEは、労働環境をさらに厳しくしています。

そのような環境下でも、場面に応じたPPEに慎重を期するのは、感染リスクの対象が患者さん、利

用者さんだけでなく、ご家族や施設職員などまでに広がるからです。

透析部門は、池田直史院長の下、職員、患者さんへの感染防止の啓発と、患者さんの発熱時にはコロナ拡大防止を考慮した隔離透析によって慎重に対応しています。

今後も「当院にかかわるすべての人命と事業継続を守る!」を念頭に、さらなる感染拡大に備え、責任と使命をもって、患者さんだけでなく職員に対しても安心安全の対策を講じて、適切な対応と体制を構築していきます。

特別養護老人ホーム オリーブ

市川明美 施設長



1月に国内初症例が発表されたことを受け、物品不足を予想し早速消毒用のアルコールやマスク、グローブ、おむつ・パット等の介護用品を通常の2～4倍の在庫を確保しました。

しかし、この時点ですでにマスクの入手が困難の状況にあり、納品されない状態でした。そのため使用を1職員1日1枚とし、3月末には職員手分けしてマスクを手作り、ディスポは感染リスクの高い受診時のみの使用としました。

対策としては、利用者宅の訪問方法、デイ・

ショート利用の可否や方法、面会などの外来者入館の要否など、従来のサービス提供を継続しつつ、コロナウイルスを施設内に入れない方法について産業医の濱口先生や病院の感染対策室に相談しながら対応をしました。

職員は、先が見えない事態に疲弊感を感じながら、日々の業務に当たっています。現在の対応を継続しながら、第二波に向けては、面会方法について検討する必要があることを感じています。

立川介護老人保健施設 わかば

稲富美恵子 感染対策委員長



入所者の感染対策の大きなものとして、2月25日より面会制限を実施しました。面会専用の携帯電話

を設置したり、iPadによるオンライン面会ができるようにしました。も実施致しました。面会制限に伴

い、業者の立ち入りも制限することになり、業務手順を大幅な修正が加えられました。

また、広報誌の『わかば便り』をWebにも掲載して、施設内の状況をご家族へお知らせできるようにしました。

しかし、ふだんからボランティアの皆さんが毎月50人以上お越しいただいていたのですが、それが突然0になったこともあり、入所者の日々の生活に彩りが全くなくなってしまいました。

川崎地区在宅事業部

宮本祥代 在宅事業部統括所長／地域ケアコーディネーター

在宅部門は、同一フロアで4事業所が業務を行っています。新型コロナウイルス対策は、2月から検討を始めました。

事業所内の消毒の徹底、訪問時の感染予防対策を継続して行っています。緊急事態宣言発令後は、職員を在宅勤務と出勤者に分け、感染者が出た場合でも対応できる体制を整えました。

利用者のサービス利用自粛により、居宅・包括事業所は大きく影響を受けました。在宅部門全体の収支面はさらに厳しい状況となりました。

しかし感染防護資材が入手し難く、対策が困難

少しでも何かできないかという思いから、スタッフの有志で演奏会を行ったところ、15分ほどの時間でしたが涙を浮かべて聴いていただく方も数多くいらっしゃいました。感染対策とはいえ、社会との隔離された環境が人に与える精神的影響には計り知れないものがあると感じました。

これからの新しい日常の中でも、感染対策でとても必要だと感じた寄り添うケアが、何よりも大切だと再認識しました。



だった状況下で、地域の食品問屋の方に食品用アルコールや衛生材料を安価で提供していただけたことは救いでした。日頃お世話になっている関係機関にもお裾分けし共に難局を乗り越えることができました。また機関誌を毎月発行し直接配布したり、利用者へ電話でのモニタリングを増やすなど『今できること』を行ってきました。

第二波に向けては、職員の安全を考慮しつつ、在宅療養者が安心してサービスを受けられるよう引き続き努力していく所存です。

埼玉地区在宅事業部

入間川・入間川東地域包括支援センター

吉田明美 所長

地域活動が制限され、介護保険につながっていない高齢者の様子の確認や、住民との情報交換がむずかしくなりました。

感染予防に取り組みながら、どう地域活動を再開するかが課題です。

いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

富野国子 所長

利用者・家族の健康状態の把握や感染予防と事業所の対応について啓発活動を実施しています。



井波八重美 所長 富野国子 所長 吉田明美 所長 守谷香織 所長

PPEの物資が不足し、代用品で対応しました。

気温の上昇に伴うPPEのケアは、熱中症予防対策に取り組みながら利用者・家族に継続的な教育が必須です。

石心会介護支援センター

守谷香織 所長

サービス提供機関も利用制限などのコロナ対応となり、利用側も感染の心配と、利用控えによる身体機能の低下や介護負担増加の心配がありました。

感染を蔓延させないために、手洗い・手指消毒

に努めています。

石心会ヘルパーステーション

井波八重美 所長

訪問介護は、生活を支える買い物援助が欠かせず、店舗の混雑や欠品があり、限られた訪問時間内での対応が大変でした。

利用者にも感染予防の物品の備えを勧めています。

石心会グループ職員サイトのご案内

今般の状況を鑑みまして、石心会グループの職員の方へへの緊急連絡ツールとして、「石心会グループ職員向けサイト」を開設しました。法人として重要な情報が掲載していきますので日々ご確認ください。

■URL

<https://www.sekishinkai.or.jp/staff/login.php>

※石心会グループサイトのトップ画面の右上・右下にある「職員サイト」をクリック

※ログイン手順は下記をご覧ください

■お問い合わせについて

- ・【ID（職員番号）】各施設の総務にお問い合わせください
- ・【パスワード忘れやその他ご質問】下記の運営事務局までご連絡ください

■「石心会グループ職員向けサイト」運営事務局

【担当部署】 …… 法人事務局 地域医療推進室
……………（担当：室市、宮本、鍋島）

【メールアドレス】… sekishinkai-web@sekishinkai.or.jp

【電話】 …… 外線：044-555-7725
……………（内線：79-4415）

■ログイン手順

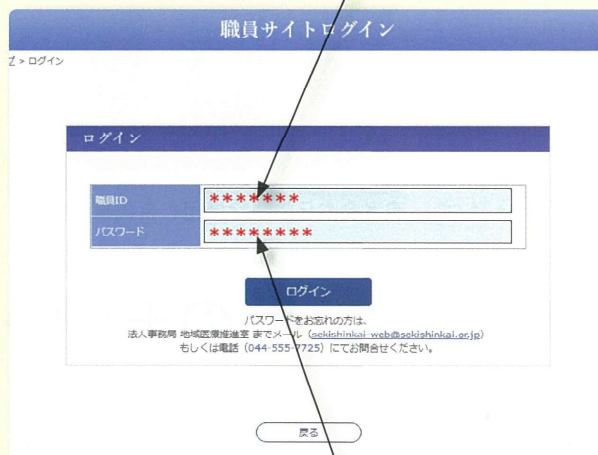
①法人グループサイトかQRコードからログイン



職員サイトQRコード

②職員ログイン画面とパスワード設定について

職員IDは給与明細に記載されている番号です



③設定したパスワードで職員サイトにログイン



- ・初期設定のパスワードは、【職員番号の後ろに英小文字の〈x〉】です。
（例：職員ID=1234、パスワード=1234x）
- ・パスワードの再設定を求められるので再設定をお願いします

- ・法人からのお知らせ
- ・所属施設からのお知らせ（※後日開設予定）が閲覧できます



私が医師を 選んだ理由

私は、小学生の頃から理科が好きで、中学生になってからは、夏休みも理科室で夢中になって実験に明け暮れ、時には午前0時過ぎに家に帰ることもありました。

中学生が夜遅くまで自由に理科室を使うことは今ではとても考えられないことですが、当時田舎の学校では認めてもらえたのです。高校では、理化クラブの部長をしていたので、将来は科学者になりたいと思っていましたし、恩師や友人からも期待されていました。

そんな私が医学を目指したのは、小学校低学年の時、母が胃潰瘍のため吐血して生死の境をさまよった体験が背景にあると思っています（年子の弟が医学部に進んだのも同じ体験をしたためかもしれません）。

組織の中で研究するよりも医師として仕事をする方が自由度が高いのではないかという考えや、高校時代に医学部へ進学する同級生が多かったことなどもあったと思います。

医学部で基礎医学を学んでいたころは、医学研究に惹かれていました。しかし、教養学部の時に起きた東大闘争と、医学部に進学してから社会



患者会から訪問診療用の自転車寄贈

問題化したサリドマイド事件などの薬害・公害問題にかかりました。その結果、診察室や手術室に閉じこもるのではなく、社会との接点を持った医療に取り組みたいと考えられるようになりました。そして医局に入らずに、地域医療を掲げていた川崎幸病院に勤めることにしました。そのとき医局に入らなかったものは同級生108人中2人だけで、2人の内のひとりが私です。1975年10月のことでした。

入職した当時は、

川崎幸病院は70床の小規模の病院でしたが、自己注射・在宅酸素療法などの自己管理治療、地域に出て行く健康座談会、訪問診療、夕方診療などの他の医療機関では取り組まなかった医療に積極的に取り組みました。

「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし、地域に貢献する医療」という石心会の基本理念が形づけられたのはこの頃からだと思っています。

杉山孝博

川崎幸クリニック 院長



河原町団地の健康座談会



血友病患者の勉強会

医療における私のモットー

菅野壮太郎 さやま総合クリニック院長

地域に密着した、患者主体の外来診療を提供するには、受診しやすい環境の整備はもとより、患者さんや健診受診者の方々が、気軽に質問しやすい雰囲気と分かりやすい言葉での病状説明を心がけています。

一方、患者さんだけでなく、医療者にとっても分かりやすいカルテ、要約を作成することによって、外来から入院、



おしえてください
あなたのモットー

在宅まで、スムーズなチーム医療ができるよう心がけています。

さらに外来患者さんの治療計画にはカルテの予習が重要で、検査・治療計画を予め考え、まとめておくことが、短い時間での外来診察が可能となると考えています。



厄介だけど怖がらずに付き合うには 『新型コロナウイルスとの戦い方は サッカーが教えてくれる』

岩田健太郎著

株式会社エクスナレッジ発行

定価：1500 円+税

地球という規模で展開するウイルスと医療のせめぎ合い。その真っ只中に私たちはいます。人類という生物が作り上げた英知を総動員して、感染拡大抑止のための壮絶な知恵比べを強いられているのです。

それをサッカー場の中でのゲームに見立て説明しようとしたのが本書です。ちょっと滑稽に見えるかもしれませんが、そうしないとこのパンデミックのスケールが見えてこないとも言えるでしょう。

著者は、感染症の臨床的専門家であり、同時にまるで少年のようにサッカーに夢中の人のように見えます。発信するツイッターを見ると、この二つしか世界がないかのように、感染症とサッカーにのめり込んでいます。

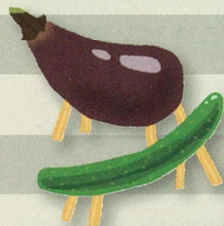
集団感染が発生して行き場を失い、横浜港に停

泊中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」に、頼まれもしないのに危機を感知して乗船し、その状況をレポートしたことはよく知られていますが、著者の専門的知識が、やむにやまれない行動を生み出したとも言えます。

〈マスク〉ひとつですら、いまだにその役割についてお国の大統領を巻き込んで喧々轟々の論争をしている滑稽さを見ると、実に嘆かわしい人類の知の到達点とも言えます。改めて、わかっていることと、そうでないことを確認して、できることには躊躇せず取り組んでいくことが原則です。

本書は、厄介な相手に対して、パニックに陥らずに対処することを知らせるとともに、相手が一体何者なのかを知るための好書です。サッカー知らずの人にもよく理解できること請け合いです。

石心会カレンダー 2020年8月1日～9月30日

		神奈川地区	埼玉地区
2020年8月	1日 土	8月1日(土) 低侵襲脳神経センター 「シンプル脳ドック」開始	
	2日 日		
	3日 月	【大暑】 たいしよ	
	4日 火		
	5日 水		
	6日 木	8月6日(木) 看護部研修 レモンナース Summer研修 ～ケーススタディ計画 発表会～	
	7日 金		
	8日 土		
	9日 日	8月9日(日) 看護部研修 ラダー1-① BLS	山の日 
	10日 月		
	11日 火		
	12日 水		
	13日 木	8月13日(木) 看護部研修 ラダー1-①	
	14日 金		
	15日 土	【立秋】 りっしゅう	
	16日 日		
	17日 月		
	18日 火		
	19日 水		
	20日 木	8月20日(木) 看護部研修 ラダー1-②	8月20日(木) 看護部研修 フレッシュナース Summer研修 フィジカルアセスメントI ～患者の身体的ニーズ を捉えるために必要な フィジカルイグザミネー ションを身につける～
	21日 金		
	22日 土		
	23日 日		
	24日 月		
	25日 火		
	26日 水	8月26日(水) 看護部研修 キャリア	
	27日 木	8月27日(木) 看護部研修 ラダー1-① BLS	8月27日(木) 看護部研修 ライムナース Summer研修 やさしく学ぶ看護倫理 II ～患者家族、医療者の ストーリーの違いに気 づく～
	28日 金		
	29日 土		
	30日 日		
	31日 月		

山の日

終戦記念日

		神奈川地区	埼玉地区
2020年 9月	1日 火	防災の日 	
	2日 水		
	3日 木		
	4日 金		
	5日 土		
	6日 日		
	7日 月		
	8日 火	敬老の日 秋分の日 	
	9日 水		
	10日 木		
	11日 金		
	12日 土		
	13日 日		
	14日 月		
	15日 火		
	16日 水		
	17日 木		
	18日 金		
	19日 土		
	20日 日		
	21日 月		
	22日 火		
	23日 水		
	24日 木		
	25日 金		
	26日 土		
	27日 日		
	28日 月		
	29日 火		
	30日 水		

【処暑】
しよしよ

【白露】
はくろ

【秋分】
しゅうぶん

9月3日(木)
看護部研修
レモンナース
Summer研修Ⅱ
フィジカルアセスメントⅡ
～フィジカルアセスメントで捉えた身体的ニーズを共有しよう～

9月9日(水)
看護部研修
ラダーⅢ

9月10日(木)
看護部研修
ラダーⅠー①

9月10日(木)
看護部研修
フレッシュナース
Summer研修Ⅱ
・患者理解を深めよう
～看護過程Ⅱ ステップアップ～
・医療安全を理解しよう

9月15日(火)
看護部研修
appleコースⅢ ー認知症ケアコースー

9月17日(木)
看護部研修
ラダーⅠー②

9月17日(木)
看護部研修
クリニカルラダーレベルⅣ対象者研修 ー研修Ⅰー
やさしく学ぶ看護倫理Ⅳ
～倫理的課題に取り組もう～

9月13日(日)
看護部研修
ラダーⅠー① BLS

9月24日(木)
看護部研修
クリニカルラダーレベルⅢ対象者研修 ー研修Ⅱー
～リーダーシップを発揮するために必要なスキルを学ぼう～

9月28日(月)
川崎心臓病センター(循環器内科)
NER ERA 循環器治療 Web
カンファレンス

appleコースⅡ ーがん看護コースー
～コミュニケーションスキルを高めよう～

9月30日(水)
看護部研修
クリニカルラダーレベルⅢ対象者研修 ー研修Ⅱー
～リーダーシップを発揮するために必要なスキルを学ぼう～

石心会グループ学会発表一覧

2020.1~2020.6

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
Susumu Oshima	大動脈外科	2020.2.8	28th Congress of the Asian Society for Cardiovascular & Thoracic Surgery (ASCVTS 2020)	Surgery for infected Graft Prosthesis	Thailand	講演
Susumu Oshima	大動脈外科	2020.2.8	28th Congress of the Asian Society for Cardiovascular & Thoracic Surgery (ASCVTS 2020)	Surgery for Complex Thoraco-Abdominal Aortic Aneurysm	Thailand	講演
Kensuke Ozaki	大動脈外科	2020.2.9	28th Congress of the Asian Society for Cardiovascular & Thoracic Surgery (ASCVTS 2020)	End Organ Protection Strategy for Extensive Thoracoabdominal Aneurysm	Thailand	講演
Kensuke Ozaki	大動脈外科	2020.6.3	Taiwan Society for Vascular Surgery	chronic type B aortic dissecting aneurysm	taiwan (online lecture)	講演
川上徹	循環器内科	2020.3.29-31	EHRA2020 (欧州不整脈学会2020)	Zero-fluoroscopy ablation with ultrasound-guided sheath insertion	ウィーン	ポスター
(注) 上記学会は Web 開催に変更されました						

【全国学会】

長谷聡一郎、 鹿島正隆、 中川達生	大動脈外科	2020.1.25	第 90 回日本心臓血管放射線研究会	異時性に多発した IgG4 関連炎症性大動脈瘤	宮城	一般口演
長崎弘和	脳神経外科	2020.2.21-22	第 20 回日本病院総合診療医学会学術総会	急性期脳梗塞に対する血栓回収療法までの時間短縮に向けた院内体制の取り組み	福岡	口演
杉山敦彦	外科	2020.2.7-8	第16回日本消化管学会総会学術集会	上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討	兵庫	一般演題
伊藤慎吾	外科	2020.2.7-8	第16回日本消化管学会総会学術集会	宿便により S 状結腸切除後の機能的端々吻合部穿孔を認めた 1 例	兵庫	一般演題
岩崎真一	婦人科	2020.4.23-28	公益社団法人日本産婦人科学会 第 72 回学術講演会	婦人科開設時からの当院における腹腔鏡下子宮全摘術の検討	web	web
鈴木瑛梨	婦人科	2020.6.29-7.6	第139回関東連合産婦人科学会総会・学術集会	妊娠 15 週で子宮破裂を生じた全 2 回帝王切開術後の産後胎盤の一例	web	web
川上 徹	循環器内科	2020.2.6-8	第 12 回植込みデバイス関連冬季大会	TAVI 後の高度房室ブロックに対するペースメーカ植込み後の慢性期に房室ブロックが回復した一例	名古屋	ポスター
小向大輔	腎臓内科	2020.2.22-23	第 10 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	腹膜透析患者における心臓外科手術後急性期心臓リハビリテーション: 3 例の経験	東京	口演
落田淳平、 宮司正道	総合内科	2020.1.10	第86回東京 GIM カンファレンス	Atypical Diagnosis	東京	口演

【地方学会】

広上智宏、 大島 晋、 尾崎健介、 櫻井 茂、 平井雄喜、 沖山 信、 栃木秀一、 糸原孝明、 山本 晋	大動脈外科	2020.2.13	第 34 回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会	意識障害にて指摘された弓部大動脈限局解離の一例	岩手	一般口演
壺井祥史	脳神経外科	2020.1.18	神奈川県脳血栓回収療法セミナー	血栓回収療法におけるデバイスの選択	川崎	口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
長崎弘和	脳神経外科	2020.2.1	第23回 Tokyo Stroke Intervention Seminar (TSIS)	内頸動脈前壁破裂脳動脈瘤に対する手術戦略 - 血管内治療で苦慮した症例 -	二子玉川	口演
成清道久	脳神経外科	2020.2.15	第17回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方会学術集会	急性期血栓回収療法における頭部 CT 灌流画像解析ソフト 4D-brain perfusion の使用経験症の1例	東京	口演
縄手祥平	脳神経外科	2020.2.15	第17回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方会学術集会	90歳以上の高齢者における急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の治療成績の検討	東京	口演

【講演会】

網木 学	外科	2020.2.21	第4回川崎臨床消化器病研究会	肥満に対する外科治療 - 保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の導入 -	川崎	講演
伊藤慎吾	外科	2020.2.26	ゼリア新薬社内勉強会	大腸癌化学療法中の食欲低下に対するアコファイトの有効性	横浜	講演

看護部

和出 南	看護部	2020.2	第17回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方会学術集会	急性期血栓回収療法における診療看護師の役割と治療成績の検討	東京	口演
安彦 文	ICU	2020.3.6-7	第43回日本脳神経外傷学会	外来トリアージにおける多職種協働	箱根	誌上開催

コメディカル部

浅田浩明	リハビリテーション科	2020.2.22-23	第10回日本腎臓リハビリテーション学会	急性A型大動脈解離術後のAKIがリハビリテーション進行に与える影響	東京	口述
伊藤瑞枝	栄養科	2020.2.27-28	日本臨床栄養代謝学会	食事療法実施期間調査	京都	ポスター
佐野真由子	栄養科	2020.1.24-26	日本病態栄養学会年次学術集会	胃癌術後患者への外来栄養相談から見えてきた継続支援の在り方—入院/外来部門の異なる施設での取り組み—	京都	デジタルポスター

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
桃原哲也	循環器科	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care 2020 Jan 24	J-MINUET investigators. Guideline adherence and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction: a Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) substudy.	論文
桃原哲也	循環器科	Int Heart J	J-MINUET investigators. Prognostic impact of B-type natriuretic peptide on long-term clinical outcomes in patients with non-ST-segment elevation acute myocardial infarction without creatine kinase elevation: a Japanese registry of acute Myocardial Infarction diagnosed by Universal dEfiniTion (J-MINUET) substudy	論文
桃原哲也	循環器科	J Clin Med 2020	on behalf of J-MINUET investigator. Long-term prognosis of patients with myocardial infarction type 1 and type 2 with and without involvement of coronary vasospasm	論文
桃原哲也	循環器科	J Cardiol	Impact of peripheral artery disease on prognosis after myocardial infarction: The J-MINUET study	論文
黒田 浩	婦人科	動画で学ぶ! 婦人科腹腔鏡トレーニング～手術経験数より大事なトレーニング法を知る～	Chapter5 実際のトレーニングメソッド4章 中級: 筋腫核出術縫合モデルP121-133	
佐藤兼重、金 佑史	形成外科	形成外科	アクアフィリングによる乳房増大術の合併症の1例	63巻、第5号、2020
下里誠司	腎内	透析ケア MCメディカ出版 2020 June vol 26, No 6 p14-16	世界一わかりやすいリンとカリウムの話2 スタッフ必修 リン編2 高リン血症がひき起こす症状・疾患①骨が脆弱になり骨折しやすくなる	
山田英行	腎内	透析ケア MCメディカ出版 2020 June vol 26, No 3 p22-23	世界一わかりやすいリンとカリウムの話 特集2 スタッフ必修 リン編2 高リン血症がひき起こす症状・疾患④皮膚がかゆくなる	

◆アルファメディック・クリニック

論文・教科書執筆等

看護部

松本智美	看護科	日本人間ドック学会誌 2020.6Vol.35No.1 P66-73	勧奨案内返信についての意識調査 - 実施率と実施把握率向上に向けて -	原著
------	-----	------------------------------------	-------------------------------------	----

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山根正久	循環器内科	2020.1.20	CTO workshop	2 RCA CTO CCN St Denis	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.1.21	CTO workshop	LCX CTO, RCA, and RCA CTO GMH Grenoble	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.1.22	CTO workshop	LAD CTO, RCA CTO Polyclinique les Fleurs salle	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.1.24	CTO workshop	LAD CTO, RCA and RCA CTO CH Ht Leveque, Bordeaux	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.2.3	CTO workshop	2 RCA CTO Max Super Speciality Hospital Dehli	インド	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.2.6	CTO workshop	RCA and RCA CTO Apollo Health City	インド	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.2.7	CTO workshop	LAD CTO, RCA and RCA CTO U.N.Mehta Institute of Cardiology-Research Center, Ahmedabad	インド	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.2.20	CTO Summit 2020	Live Case LCX CTO	アメリカ	オペレーター
山根正久	循環器内科	2020.2.23	CRT 2020	Retrograde Basics: How to Pick A Collateral and Which Wire to Cross With	アメリカ	講演
山根正久	循環器内科	2020.2.23	CRT 2020	How to manage proximal and distal cap ambiguity	アメリカ	講演
山根正久	循環器内科	2020.2.23	CRT 2020	When a micro catheter stuck for retrograde CTO PCI	アメリカ	講演
山根正久	循環器内科	2020.2.23	CRT 2020	How to manage impenetrable proximal cap	アメリカ	講演
山根正久	循環器内科	2020.6.27	Euro PCR 2020 (Web-Course)	Selection of appropriate devices for retrograde CTO cases	フランス (Web)	講演
荒巻和彦	循環器内科	2020.2.23	CRT 2020	Comparative In-hospital Outcomes Of AMI Patients Under Normal LDL-C On Treatment With Chronic Statin-therapy (ST) Prior To AMI And Those Without Chronic ST	アメリカ	ポスター

【全国学会】

入江忠信	循環器内科	2020.1.11	第 32 回臨床不整脈研究会	Slow-fast AVNRTとATを併発し、それぞれ異なる電気生理学的所見により診断可能であった1例	東京	口演
入江忠信	循環器内科	2020.2.8	第 12 回植込みデバイス関連冬季大会	ペースメーカー移植術後急性期に発症したポケット外血腫の1例	愛知	口演
山田哲也	整形外科	2020.2.7	第 32 回日本肘関節学会学術集会	尺骨鉤状突起骨折の治療におけるOver-the-Top Approache と他のアポロープの比較	奈良	一般・口演
白石哲也	リハビリテーション科	2020.6.9-12	第 34 回人工知能学会全国大会	機械学習を用いた急性期脳出血症例におけるFIM利得予測	Web	一般・口演
山崎美保子	放射線科	2020.6.26	第 49 回日本神経放射線学会	4D造影MRAが診断に有用であったintradural venous drainageを伴う脊髄硬膜外動静脈瘤の一覧	島根 (Web)	ポスター
濱口裕江	麻酔科	2020.2.8	第 32 回日本老年麻酔学会	有効なタイムアウト実施に向けた取り組み※優秀演題に選定された	岡山	一般・口演
鈴木康弘	心理相談科	2020.2.8-9	日本学校メンタルヘルス学会 第 23 回大会	スクールカウンセリングから医療機関へつながった事例に関する検討	岡山	一般講演
柏木宏介	心理相談科	2020.3.2-4	日本発達心理学会 第 31 回大会	神経発達症群が疑われた児の WISC-IV における外れ値の出現率	大阪	ポスター

【地方学会】

近藤竜史	脳血管内治療科	2020.2.15	第 17 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	一般演題 1 急性期血行再建 -1	東京	座長
中館雅志	脳血管内治療科	2020.2.15	第 17 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	動脈解離に起因する急性期虚血性脳卒中に対する血管内治療	東京	口演
陣野太陽	心臓血管外科	2020.2.22	日本循環器学会 第255回関東甲信越地方会	AVR 後、パンヌスによる LMT 狭窄で心筋梗塞に至った 1 例	東京	一般口演
山崎美保子	放射線科	2020.1.17	第 360 回 BODY-CT 研究会	大動脈解離の一例	東京	一般・口演
青嶋大彦	研修医	2020.2.8	第 657 回日本内科学会 関東地方会	偽性副甲状腺機能低下症の低Ca血症によりOT延長を呈した 1 例	東京	一般・口演
岡本 航	研修医	2020.2.8	第 657 回日本内科学会 関東地方会	入院時に気道症状を欠き診断に苦慮したレジオネラ肺炎の 1 例	東京	一般・口演
清水春花	研修医	2020.2.8	第 657 回日本内科学会 関東地方会	TAVI の既往があり敗血症性ショックで死亡した透析導入患者の 1 例	東京	一般・口演

【講演】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
吉浦 徹	脳神経外科	2020.2.1	第7回手技にこだわる脳神経外科学ビデオカンファランス学会集会プログラム - 手技における "みる" とは何か? -	神経内視鏡で「見て」治す - 急性硬膜下血腫に対する小開頭神経内視鏡手術、確実な血腫除去および止血について -	横浜	口演
徳重一雄	脳神経外科	2020.2.7	西武抗凝固療法 Up to Date	抗血栓薬内服症例における脳出血手術の現状と対策	所沢	口演
石原正一郎	脳血管内治療科	2020.2.10	Prime de Night in 関東	脳動脈瘤治療における情報交換と PRIME, Phenom の使い方	大宮	座長
石原正一郎	脳血管内治療科	2020.2.14	第9回神経内視鏡症例検討会 in 桜山	症例検討	名古屋	座長
入江忠信	循環器内科	2020.2.18	不整脈アカデミー	クライオアブレーションで変わるこれからの心房細動治療	埼玉	講演

検査部

安藤恭代	検査部	2020.01.29	第1回川越地区検査技師の会	臨床検査技師としてHCV院内拾い上げに、どう貢献できるか?	川越	総合司会
小林保彦	内視鏡室	2020.01.29	第1回川越地区検査技師の会	当院で構築したHCV院内拾い上げシステムについて～発見から治療まで～	川越	講演

栄養部

安達順子	栄養部	2020.1.24	第23回日本病態栄養学会年次学術集会	誤嚥性肺炎発症患者の傾向について	京都	口演
青柳奈津子	栄養部	2020.1.26	第23回日本病態栄養学会年次学術集会	周術期外来患者に対する管理栄養士の介入	京都	ポスター

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
入江忠信	循環器内科	Therapeutic Research vol.41 no.6 2020	逆伝導における心房側のexitが複数存在することが示唆されたfast/slow AVNRTの1例	雑誌
萩原卓思	循環器内科	Therapeutic Research vol.41 no.6 2020	ペースメーカー移植術後急性期に発症したポケット外血腫の1例	雑誌
清水喜徳	外科	埼玉県医学会誌、54(2): 486-493, 2020	臍頭十二指腸切除術後に発生した肝外門脈閉塞による肝門部挙上空腸静脈瘤に対し開腹下経回結腸静脈カテーテル的硬化療法が奏功した1例	雑誌
庄子 渉	外科	埼玉県医学会誌、54(2): 486-493, 2020	腹部コンパートメント症候群に留意し切除し得た高分化型脂肪肉腫の1切除例	雑誌
加藤泰之	心臓血管外科	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 2020: 30; 85-90	Aortic root remodelling with external ring annuloplasty in acute type A aortic dissection	論文
山崎美保子	放射線科	日本放射線科専門医会・医会誌 2020 No.233	画像診断症例クイズQuestion13解答・解説 肝エキノコックス症(単包虫症) 優秀賞受賞	雑誌

看護部

福島俊江	看護部	産労総合研究所 看護のチカラ 2020 no.536	看護部長とのワン・オン・ワン・ミーティング	雑誌
小林比呂子	看護部	日経研出版 外来看護 2020春号	PFMによる入院前から退院後までの支援における外来看護の役割	雑誌

栄養部

秋山好美	栄養部	ヘルスケアレストラン 2020.5	「早期栄養介入」を実践しよう! 体制構築の取り組み、戦略的に体制を整えていこう	雑誌
------	-----	-------------------	---	----

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【講演会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
池田直史	腎臓内科	2020.1.21	臨床医のための Diabetes Small Meeting	DKD における血圧管理と血糖管理	所沢市	特別講演
池田直史	腎臓内科	2020.1.27	第32回一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 地域ネットカンファレンス	CKD における血圧管理・血糖管理 (高齢者を中心に)	web	講演
池田直史	腎臓内科	2020.2.6	地域医療連携セミナー	腎臓病対策検討会を踏まえた CKD 対策	埼玉石心会病院	座長
池田直史	腎臓内科	2020.2.8	パーサビブ Table Discussion Meeting	SHPT に対する新しい治療 ~ Calcimimetics 注射製剤を用いた管理方法 ~	千代田区	特別講演